

Q&A (2024.2.26 時点)

1 別紙2 自営線想定ルート図

その1 (自営線延長)

別紙2_自営線想定ルート図において下記の自営線の延長が記載されていないので開示して欲しい。

- ・MH①～⑯大型蓄電池間の地下埋設線
- ・⑯大型蓄電池～MH②間の地下埋設線
- ・⑯大型蓄電池～⑧歴史とみちの館 QB 間の地下埋設線
- ・MH⑨～⑦観光情報センター間の低圧送電線

また集計欄の地下:As の値と図中の合計値が合致しないので、どちらが正しいかを示して欲しい。

⇒ **自営線の延長の未記載があり、申し訳ありません。「別紙2_自営線想定ルート図」を修正しましたので、ご確認ください。**

2 別紙2 自営線想定ルート図

その2 (低圧供給設備)

別紙2_自営線想定ルート図においてMH⑨からの低圧施設(観光情報センター/東桂苑)への電力供給設備は、電柱を新設のうえ柱上変圧器を設置する方式か?若しくは地上用変圧器を設置する方式か?

⇒ **現時点では、近傍の需要施設から高圧ルートと一部並行させる形で低圧電力ケーブルでつなぐ方法を考えています。**

3 系統図について

別紙2_ルート想定図は提示されておりますが、自営線の構成が不明確なため系統図(案でも結構です)を開示いただけますでしょうか?

⇒ **資料(系統図案)を追加しました。**

4 系統との受電点

自営線ルートに関して、東北電力ネットワーク(株)系統線から受電する商用電源の受電点は決定しているでしょうか?

⇒ **現在のところ未定であります。関川村役場又はせきかわ歴史とみちの館の高圧受電点を想定していますが、発注後に東北電力NW様と相談することになります。**

5 各需要施設の受電点

自営線ルートに関して、現状の各需要施設の系統からの受電点（一号柱）にマイクログリッド自営線を接続する前提か？若しくは、系統線から自営線への切替工事の際の停電時間を考慮し、受電点（一号柱）の建て替えを考慮すべきか？

⇒ **基本設計の段階では、現状の各需要施設の系統（商用）の受電点に接続する前提で考えています。（※電柱とキュービクルどちらに接続するかは系統図案に記載）
発注後に東北電力 NW 様と相談することになります。**

6 別紙1 地域マイクログリッド対象施設

別紙1_地域マイクログリッドの各対象施設のうち、No.1～13の消費電力量実績（30分値）を開示して欲しい。

可能であれば2023年1月1日～2023年12月31日のデータで開示して欲しい。

⇒ **ご質問いただいた会社には、別途メールでデータを送ります。その他必要とする会社はその旨ご連絡ください。**

7 別紙1 地域マイクログリッド対象施設

別紙1_地域マイクログリッドの対象施設 No.14（再エネ充電ステーション（予定））における電力消費量の前提を開示願います。

⇒ **今後、設備メーカーと詳細を決めることとなりますが、現段階では年間で52,560kwh程度の電力消費量を想定しています。**

8 自営線敷設基本設計について

令和5年8月28日付で発注された関川村地域マイクログリッド自営線基本設計業務における検討データの詳細（成果報告書等）を開示してもらいたい。

⇒ **工期が令和6年3月15日であるため、現段階で開示できるデータはありません。質問1の想定ルート図、質問2の系統図案について、提供をさせていただきます。**

9 提供資料

仕様書に記載されている「本村より提示される再生可能エネルギー発電設備の想定発電量、各施設の電力使用量」について提供して欲しい。

⇒ **想定発電量については、別紙1のとおりです。消費電力量は、追加で資料を提供しますので、必要とされる会社はご連絡ください。**

10 提供資料

脱炭素先行地域づくり計画提案書において、各施設における省エネによる電力削減について記載されている。設備構成の検討にあたり、各施設の省エネ計画（消費電力削減量やスケジュール）について教えていただけますでしょうか。

⇒ 現在の計画値を追加資料で提供します。マイクログリッド内施設では、令和 6 年に LED 化 3 施設（村民会館、関川小学校、関川中学校）、高効率空調 1 施設（村民会館）、令和 7 年度に残り施設の LED 化、高効率空調 3 施設（関川村役場、診療所、せきかわ歴史とみちの館）を予定しています。

11 選定方法

選定方法については実施要領【別表 1】評価基準表のみでの選定方法でしょうか。価格での評価点はないのか。

⇒ 入札上限価格内で、提案内容の優劣や加点要素等をふまえて評価します。単純に価格だけの評価は行いません。

12 系統連系

仕様書【別紙 2】に系統連系点が記載されておりませんが、系統連系点を示して欲しい。また、系統電圧は高圧（6600V）でよいか。

⇒ 現在のところ未定であります。関川村役場又はせきかわ歴史とみちの館の高圧受電点を想定していますが、発注後に東北電力 NW 様と相談して決定することになります。

13 対象施設

仕様書【別紙 1】に記載されている「再エネ充電ステーション（予定）」は【別紙 2】ルート図のどこに整備予定か。

⇒ 「別紙 2_自営線想定ルート図」に追加で記載をして修正しましたので、ご確認ください。

14 対象施設

仕様書【別紙 1】に記載されている「屋根置太陽光第 1 期」と「屋根置太陽光第 2 期」については、マイクログリッド整備までに整備する計画でしょうか。

⇒ お見込みのとおりです。マイクログリッド整備に合わせる計画です。

15 対象施設

仕様書【別紙1】の「道の駅関川（ちぐら・あいさい市）」は【別紙2】ではグレーになっているが、マイクログリッドに接続しないのか。

⇒ 既設の連系ルートで接続されています。「別紙2_自営線想定ルート図」を修正しましたので、ご確認ください。

16 対象施設

仕様書【別紙2】の「①農村文化交流センターの～む」はマイクログリッドに接続しないと考えてよいか。

⇒ 紛らわしい記載となって申し訳ありません。マイクログリッドに接続しません。「別紙2_自営線想定ルート図」を修正しましたので、ご確認ください。

17 対象施設

仕様書【別紙1】のNo.1～No.14の施設はすべて商用停電時でも供給継続する施設となるか。供給しない施設がある場合、その施設を教えて欲しい。

⇒ 発災時の特定供給先は、No.1（関川村役場庁舎）、No.3（脱炭素推進センター）、No.4（関川中学校）、No.5（村民会館）、No.12（関川小学校）への供給を予定しています。

18 対象施設

停電時の供給継続時間及び特定負荷容量（保安負荷容量）について教えて欲しい。定置型蓄電システムの検討にあたり確認したい。

⇒ 供給継続時間は72時間、特定供給先は17のとおりです。特定負荷容量は計算出来ていません。

19 対象施設

仕様書【別紙1】1～13の各施設に非常用発電設備は設置されているか。設置されている場合は、設備仕様の情報を提供して欲しい。提供を求める情報：発電容量、連続運転時間、燃料タンク容量等及び燃料確保状況。

⇒ **非常用発電機が設置されているのは、関川村役場、村民会館、関川中学校です。**

【関川村役場】

・発電機3台（発電容量：5.5KVA、連続運転時間 定格負荷 6.1時間 燃料タンク容量 ガソリン 18ℓ）

・防災無線用発電機1台（発電容量 5KVA、燃料タンク容量 軽油 70ℓ）

【村民会館】

・発電機1台（発電容量：35VKA 燃料タンク容量：軽油 40ℓ）

【関川中学校】

・防災無線用発電機1台（発電容量 5KVA、燃料タンク容量 軽油 70ℓ）

20 対象施設

仕様書【別紙1】1～13の各施設は長期間存在しているもの（例として20年間程度以上は存在し途中建替や取り壊し計画はないもの）という認識でよいか。

⇒ **現段階では、建替えや取り壊しの計画はありません。**

21 業務期間

仕様書において、令和8年2月28日までに基本構想、基本設計、詳細設計・構築を完成させるスケジュールとされておりますが、基本構想をおこなった結果、スケジュールの見直し（後ろ倒し）が必要になった際の変更は可能でしょうか。

⇒ **環境省の先行地域づくり事業で実施のため、基本的に変更は不可です。**

22 一般送配電事業者との協議状況

一般送配電事業者との協議について、合意状況の記載がございませんが、協議状況を教えて欲しい。

一般送配電事業者との協議次第では、スケジュールや工事費への影響が大きくなると考えられる。

⇒ **令和5年8月に事業概要の説明をさせていただきました。今後、相談、協議を進める予定です。**

23 東北経済産業局への確認状況

本マイクログリッド内の電力の融通について、電気事業法上どのように取り扱われるべきかを東北経済産業局へ確認されていたら東北経済産業局の見解を教えて欲しい。(本事業で取得される電気事業法上の許認可やスケジュール等含む)

⇒ **現段階で直接の確認は行っていません。特定送配電事業者届出及び小売電気事業登録を想定しており令和6年度中に認可を取得する想定です。**

24 エネルギーマネジメントシステム関連

「脱炭素先行地域 進捗状況報告票」において、「EMS 事業については、システム概要及び仕様を協議してきて、ほぼ完成した」と記載があるが、仕様案を開示して欲しい。

⇒ **計画は白紙撤回となりましたので、開示する情報はありません。今回提案をお願いします。**

25 エネルギーマネジメントシステム関連

地域マイクログリッド対象施設におきまして、エネルギーマネジメントシステムで需給管理する対象設備は、仕様書【別紙1】に記載されている再生可能エネルギー設備のみとなるか。

⇒ **お見込みのとおりです。**

26 エネルギーマネジメントシステム関連

地域マイクログリッド対象施設におきまして、仕様書【別紙1】に記載されている再生可能エネルギー発電設備以外に各施設に設置される蓄電池等の設備がございましたら仕様を教えてください。

⇒ **全施設に蓄電池を設置予定ですが、個別施設の蓄電池容量は、公募で選定された事業者と集約化を協議した上で、最終決定して令和7年度に設置する予定です。**

27 エネルギーマネジメントシステム関連

仕様書【別紙1】地域マイクログリッド対象施設において、大規模商用停電時において「供給しない施設」があった場合ですが、商用停電時における「供給しない施設」の需給管理はエネルギーマネジメントシステム管理対象外との認識でよろしいでしょうか。

⇒ **停電時供給しない施設であっても平常時は電力需給調整対象であるため管理対象との認識です。**

28 エネルギーマネジメントシステム関連

地域マイクログリッドのエネルギーマネジメントシステムの提供において、システムの提供形態についてオンプレミス型／クラウド型などご指定があるか。

⇒ 指定はありませんので、ご提案をお願いします。

29 水害対策について

仕様書【別紙2】において、マイクログリッドは地中埋設で計画されておりますが、脱炭素先行地域計画書によると2022年8月の災害時にはマイクログリッドエリアも冠水されたようですが、問題はないか。同程度の水害時のマイクログリッド稼働も想定されているのか。

⇒ マイクログリッド稼働を想定しますので、ハザードマップも考慮した提案をお願いします。

30 大規模停電発生時のマイクログリッドの運用方法

仕様書において「本村の地域防災計画を踏まえ、関係者との調整を行いつつ、大規模停電発生時のマイクログリッドの運用方法を整理する」と記載されているが、レジリエンス基準（大規模停電時にどれくらいの時間の非常時供給を担保できるようにしておくか）について自治体の考えが具体的に記載されているか。設備費用に大きく影響する要素であるため、予め考えを示して欲しい。

⇒ 村として、業務継続を考えて非常時に72時間の供給が必要と考えています。